※施工上の注意とご使用上の注意はカタログ・取扱説明書をお読みください。

東芝換気扇（ダクト用・二～三部屋形・低騒音形）

付属品
＊木ねじ…15本（φ4×35L）

品番	部品名	材質	表面処理	色調
1	本体枠	PP樹脂		マンセルN1
2	ケーシング	PP樹脂		マンセルN1
3	ベルマウス	PP樹脂		マンセルN1
4	天板	亜鉛鉄板		
5	モータ	DCブラシレスモータ		
6	羽根	PP樹脂		マンセルN1
7	排気口	ABS樹脂		マンセルN1
8	排気口シャッター	PP樹脂		
9	電装カバー	亜鉛鉄板		
10	つまみ	PP樹脂		マンセルN1
11	本体カバー	ABS樹脂	艶あり	マンセル2.5GY9.0/0.5
12	ＳＬ端子	AC300V 7A		
13	アース端子	銅合金	スズメッキ	
14	吸込口	ABS樹脂		マンセルN1
15	吸込口シャッター	PP樹脂		
16	遮蔽板	PP樹脂		マンセルN1
17	吸込グリル	ABS樹脂	艶あり	マンセル2.5GY9.0/0.5
18	取付枠	PP樹脂		マンセルN1
19	風量調整板	PP樹脂		マンセルN1
20	吊下金具	亜鉛鉄板		別売（DV-2T）

■設置場所に関するご注意

この換気扇は、下記表の据付可能場所の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。（台所では使用できません。腐食（落下）、漏電（感電）、火災、早期故障の原因となります。）

据付可能場所		
浴室	トイレ 洗面所	居間・店舗 事務所
○	○	○

＊親機と子機の風量割合は出荷時７：３になっており風量調整板（小）（親機本体カバー内）を90°回転させてはめかえることにより６：４に変更できます。
＊正面騒音は、室外側ダクト内音が測定室に出ないようにし、本体カバー正面（下方）より1m離れた地点でのAレンジによる値です。

■特性表

形名	方式	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)		消費電力 (W)	電流 (A)	風量(m3/h) 0Pa	ダクト20m相当長	ダクト30m相当長	騒音 (dB)	最大電流 (A)	最大消費電力 (W)	質量 (kg)
DVP-TD14CLDT	天井用	100	50/60	急速	23.5	0.44	270	194	174	42	0.55	29.5	2.8
				強	6.6	0.15	160	160	155	29	0.45	23.5	
				弱	2.6	0.07	85	85	85	18	0.17	7.5	

電動機形式	DCブラシレスモータ	絶縁抵抗	10MΩ以上（500Vメガー）	耐電圧	AC1000V1分間

埋込寸法	22.5cm角
絶縁区分	E種

＊風量値は　JIS C-9603チャンバー方式による。
＊本仕様は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

風量割合	刻印	2部屋用 親機	2部屋用 子機	3部屋用 親機	3部屋用 子機	3部屋用 子機	本体カバー開口面積(cm^2)
	A	7	3	6	2	2	親機：74　子機：70
	B	6	4	5	2.5	2.5	親機：49　子機：70

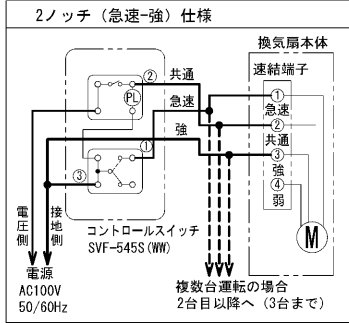
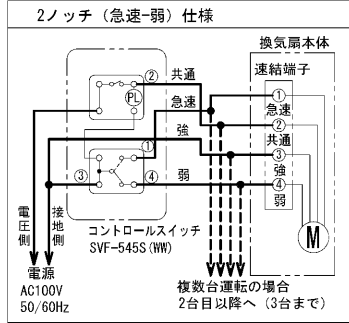
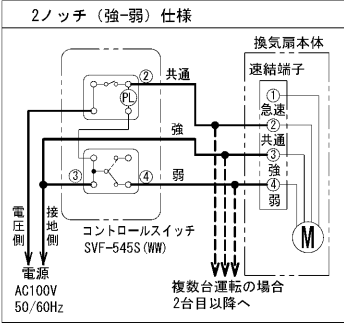
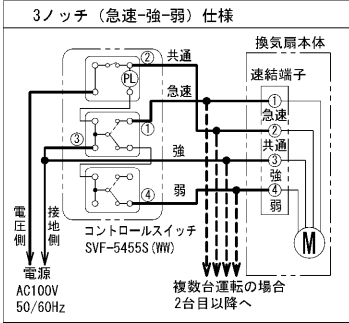
東芝キャリア株式会社	形名	DVP-TD14CLDT
作成年月日 H.27.2.16	図面番号	AV005129(1/2)

H.26.4.1　AV005129-02

電気結線図

※太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。
※施工時は「結線間違い」や「異電圧印加」等の誤結線がないことを十分確認してから運転してください。
※漏電遮断器を取り付けてください。　＊電子式スイッチを使用すると、正常に動作しない場合がありますので使用しないでください。

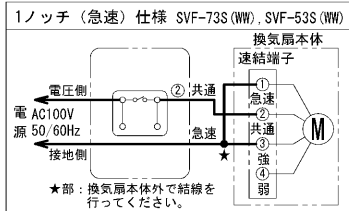
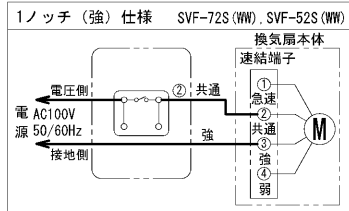
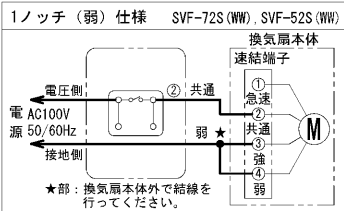
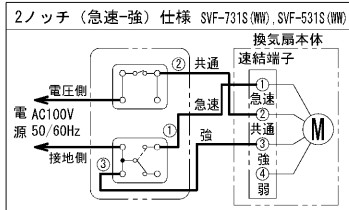
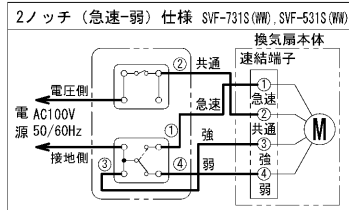
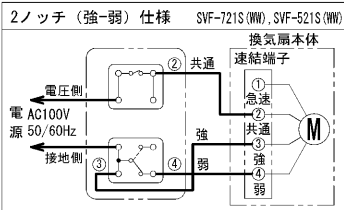
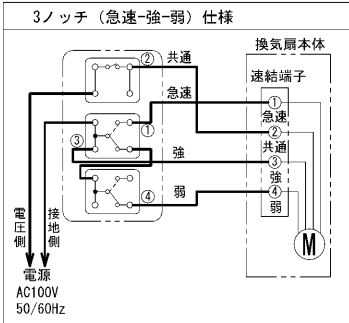
■ダクト用換気扇DCモータタイプ専用操作スイッチ（SVF-5455S(WW),SVF-545S(WW)）を使用する場合

(1)DVP-TD14CLDTのみの
組み合わせの場合には4台まで運転できます。
換気扇の複数台運転の台数は、
操作スイッチの部品構成と
運転時の突入電流から決められています。

■その他の操作スイッチ(2線式)を使用する場合
表示灯付操作スイッチを運転/停止切換えに使用する場合

(1)操作スイッチ1個で換気扇が1台運転できます。

(2)操作スイッチの仕様が、定格0.5A のものは
急速ノッチでは使用できません。
定格4A のスイッチを使用してください。
また運転状態により、スイッチのランプの点灯が
薄くなったりちらついたりすることがありますが
異常ではありません。

(3)運転/ 停止切換え以外には、表示灯付操作
スイッチを使用しないでください。

※ 表示灯なし操作スイッチでDVP-T14CLDTのみの組み合わせの場合には4台まで運転できます。

設計据付に関するご注意

※定風量換気運転を有効にするダクト配管に関するご注意

(1)定風量運転を有効にするためには、パイプフードやダクト配管等の合計の抵抗が定風量域最大静圧以下(ダクト長さ28m相当以下)になるようにダクト設計してください。
簡略計算は総合カタログ等を参考に次のように行ってください。
【簡易計算】　ダクト配管長さ＝(ダクト長さ28m相当)－(パイプフード等価円管長さ)－(直角エルボの等価円管長さ)－(その他部品の等価円管長さ)

＜計算例＞
・換気扇：DVP-TD14CLDT･･･定風量域最大静圧＝ダクト長さ28m(径はφ100)
・屋外フード：DV-141LY･･･φ100等価円管長さ＝5.2m
・曲がり：直角エルボ2箇所R/D=1(仮定)･･･φ100等価円管長さ長さ＝1.2m×2箇所＝2.4m
・その他部品：使用せず･･･φ100直管相当長さ＝0m
※等価円管長さの数値は総合カタログ記載の値です。

ダクト配管長さ(直管部合計長さ)＝28m－5.2m－2.4m＝20.4m(最大)
･･･以上より上記部品の組合せの場合、ダクト配管長さ(直管部合計長さ)が20.4m以内で
あれば定風量運転ができることがわかります。

(2)強い外風の影響を受ける場所に据付けた場合、風量の低下や騒音悪化となるおそれがありますので
耐外風フード等で対策してください。

東芝キャリア株式会社	形　名	DVF-TD14CLDT
作成年月日　H.27.2.16	図面番号	ＡＶ００５１２９(2/2)